

謝金支払規程

(目的)

第1条 この規程は、公益財団法人南砺幸せ未来基金（以下「当財団」という。）が助成・褒賞事業等に関して選考会の審査を依頼する選考委員、助成先監査を依頼する監査員、講演会・討論会等に際して講演・登壇を依頼する講師等及び出版物に原稿を寄稿する執筆者等に支払う謝金に関して必要な事項を定める。

(支払対象者及び業務内容)

第2条 謝金の支給対象者、対象業務の内容及び謝金の基準支払金額については、別表に掲げる通りとする。

(支払方法)

第3条 謝金は支給対象者本人に対して支払い、本人名義の銀行口座への振込を原則とする。ただし、特段の事情がある場合は、本人の申し出により、本人の所属する会社等の組織に支払うことができる。

(交通費及び宿泊費の支給)

第4条 交通費及び宿泊費を要した場合は、第2条に定める謝金に加えて、交通費及び宿泊費の実費相当額を支払うものとする。

(源泉徴収)

第5条 謝金の支払に際して、当財団は法令の定めるところにより、所得税の源泉徴収及び納税を行うものとする。

(受託・助成事業)

第6条 外部諸機関・諸団体からの受託・助成事業で、その機関・団体において謝金の支給に関する規程がある場合は、その規程に従って謝金の支給を行うことができる。

(その他)

第7条 別表に掲げる基準に関わらず特別な事情がある場合、事務局長は、当該者の知名度・経験、講義の内容・難易度等を勘案し、支払金額を別に定めることができる。

2 前項に従い、支給金額を別に定めた場合、事務局長は代表理事の承認を得なければならない。ただし、別表に掲げる基準から、1件の支払につき10,000円を超えない範囲で、支払金額を増減した場合は、この限りではない。

(改廃)

第8条 この規程の改廃は、理事会の決議を経て行う。

附 則

1. この規程は、令和2年10月2日から施行する。（令和2年10月2日理事会決議）
2. この規定の一部を改訂し令和7年3月21日から実施する。（令和7年3月21日理事会決議）

<別表>

謝金支払規程第2条に規定する謝金の支給対象者、対象業務の内容及び謝金の基準支払金額は以下のとおりとする。（金額は消費税を含む）

支給対象者	対象業務	基準支払金額
審査委員	審査会への出席（実働3時間以上の場合）	20,000円/回
	同（実働3時間未満の場合）	15,000円/回
	書面による審査	2,000円/件

支給対象者	対象業務	基準支払金額
監査員	助成先監査業務（実働1時間あたり）	5,000円/時間

支給対象者	対象業務	基準支払金額
講師等	講演会の講師（実働3時間以上の場合）	20,000円/回
	同（実働3時間未満の場合）	15,000円/回
	討論会の進行役、討論者（実働3時間以上の場合）	20,000円/回
	同（実働3時間未満の場合）	15,000円/回
	研修会の講師（実働3時間以上の場合）	30,000円/回
	同（実働3時間未満の場合）	20,000円/回

支給対象者	対象業務	基準支払金額
執筆者等	取材レポートの作成	10,000円/件
	原稿の寄稿	2,000円/400字
	イラスト	1,000円/点

以上